第76号 西部コミセンニュース

発行・西部コミュニティ協議会　　編集・広報部
〒180-0022 武蔵野市境5-6-20　電話・FAX0422(56)2888
E－mail　seibu-c@bz04.plala.or.jp　　HPアドレスhttp://seibu-c.sakura.ne.jp
※5月よりEメールアドレスが変わりました

第３４回住民総会開催

４月１６日（土）に西部コミュニティ協議会　第３４回住民総会が開催されました。議長に阿部敏哉さんを選出、平成２７年度事業報告・決算及び監査報告が行われ、質疑応答のあと承認されました。次いで、平成２８年度事業報告・同予算案が提案され、質疑応答のあと承認決定されました。また、役員・監事・運営委員が承認され、平成２８年度の新体制が決定いたしました。

総会終了後は、地域交流会として「Ｐｉｃｋ＆Ｌｉｐｓ」さんのジャズコンサートを開催しました。代表作のひとつである「孤独のグルメ」のテーマ曲などサックスとギターによる素敵な演奏を聞かせていただきました。

平成２８年度の西部コミュニティ協議会の運営委員は次の通りです。

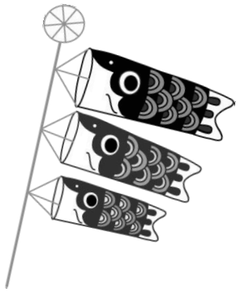
会　長	大鷲美津江	監　事	西堀　廣子	委　員	桜井　和実	委　員	田村　仁良	委　員	髙橋　幸代
副会長	梁井　記代	監　事	田中　雅文	委　員	嶋村　治久	委　員	木川　憲子	委　員	笹沼　一雄
副会長	清水美千代	委　員	秋本　正	委　員	高田　幸子	委　員	後藤　肇		
副会長	横山　勇	委　員	髙橋　雅子	委　員	佐藤　佳子	委　員	鈴木　康夫		
副会長	大上　茂雄	委　員	近藤　博子	委　員	有馬てる美	委　員	稲葉　勝之		
会　計	五十嵐恵美子	委　員	村野ゆり子	委　員	三本木由実子	委　員	服部　紀子		

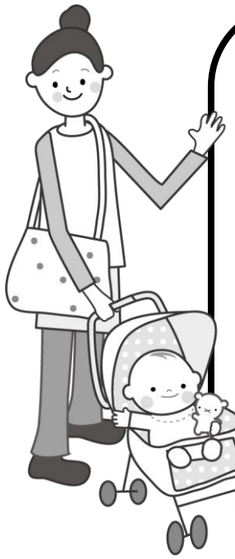
収　　入	27年度決算	28年度予算
市補助金	2,432,000	2,710,000
前年度繰越金	341,291	271,712
雑収入	1,915	3,000
合　　計	2,775,206	2,984,712

支　　出	27年度決算	28年度予算
事業費	722,397	750,000
運営費	305,033	400,000
消耗品費	527,178	500,000
印刷製本費	409,154	333,000
新聞雑誌購読料	54,108	0
通信・交通費	117,212	131,000
インターネット使用料	54736	6,000
研連負担金	40,000	40,000
備品費	273,676	600,000
予備費	0	224,712
合　　計	2,503,494	2,984,712
次年度繰越金	271,712	0

イベント情報

６月１８日(土)　コミセンまつり
※詳細は市報に掲載いたします。
その他のイベントも順次市報または館内にてご案内いたします。





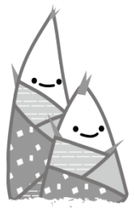
★親子ルームの開放（部屋の開放は 9:30～1:20）

毎週火曜日　どなたでも参加できます。
また、「境おやこひろば」と提携して子育ての事業を行います。

第１火曜日　　リトミック　10:00～11:30
第２火曜日　　おやこひろば　　9:30～1:20
第３火曜日　　わらべうたの会「あずきっちょ」10:00～11:00
　　（会費３００円が必要です）
第４火曜日　　おやこひろば　　9:30～1:20
※第２、第４は特別企画が入る場合がございます。

★コミセンカフェ（ロビー）

毎日正午～４時まで
１杯　５０円
１ポット（約 11～12 杯分）500 円
お気軽にご利用ください。



編集後記

住民総会が終わり、平成２８年度のコミセンの活動が始まりました。
今年度は３名の新しい運営委員を迎え、新体制でのスタートとなりました。
今後も楽しい行事のご案内やコミセンの様子などをしっかりお伝え出来るよう
広報部一同頑張ってまいります。　　広報部より

新会長挨拶

冬のゆずり葉から芽が吹き、新緑の季節となりました。
平成 28 年度を迎え、地域の皆様にご挨拶申し上げます。
この 4 月に武蔵境駅前の北口広場完成に伴い、これからも境の益々の発展を祈念したいと存じます。
まちづくりは人が集い作り上げていくように、とりわけコミュニティセンターも自主参加・自主企画・自主運営が基本のボランティアで運営されております。
今年度はコミセンまつり・文化祭の他、新たに地域の諸団体との地域フォーラム構想等、課題が盛りだくさんですので運営委員一同、力を合わせていきたいと思います。
今後ともご支援を頂きますようお願い申し上げます。

西部コミュニティ協議会 会長　大鷲美津江

★コミセンスタンプラリー★

毎年恒例の市内 16 コミセンをめぐるスタンプラリーが３月 19 日(土)～26 日(土)まで開催されました。皆さん、各コミセンの参加賞や達成シールを楽しみに参加されていました。

◆囲碁・将棋初手合わせ◆

今年度は参加者が増えたため、１月９日(土)に将棋(４５名参加)、10 日(日)に囲碁（32 名参加）に別れて開催されました。それぞれで熱戦となり、下記の方々が入賞されました。他に跳び賞、敢闘賞、努力賞を表彰しましたがお名前は省略します。

表彰式では、会長から熱戦に対する労いと、囲碁・将棋を通してますますコミュニケーションを深めていただきたいと挨拶をいただき、参加者はそれぞれの健闘を讃えあい、次回の対戦を約束していました。

	優　勝	２　位	３　位
将　棋	岸本六段	同率のため両者優勝	高木4段
	磯田五段		
囲　碁	松本六段	佐藤四段	宮本四段
	丸山二段	山﨑二段	桧垣1級

＊開催行事のご報告＊

◆読み聞かせ隊◆

３月 19 日(土)に**志茂田景樹**さんの「読み聞かせ」が行われました。
「キリンがくる日」「ぞうのこどもがみたゆめ」「ちいさなちいさなぞうのひみつ」の３つのお話を読んでいただきました。
この日にご来館いただいた方の中には群馬から志茂田さんの「読み聞かせ」を聞きに車で３時間もかけて来たという方もいらっしゃいました。
どのお話もぞうやキリン、少年がそれぞれ親や友との別れがあり、涙を誘うのですが、最後には共通してその後も元気にたくましく生きている姿が描かれていて、私自身、お話の中から勇気と元気を沢山もらいました。

◆日光写真を作ろう◆

開催日は３月２２日(日)
鉄で出来た感光液を塗った印画紙に、絵を描いたトレーシングペーパーや葉っぱなどのネガを置き、太陽光で感光させるサイアノタイプという日光写真を、小学生を中心とした子供たちと行いました。残念ながら当日は曇り空で感光に時間がかかってしまいましたが、仕上がりは上々。子供自身の手で水現像を行い、中には濃紺に浮かび上がった像を見て「すごーい」と声をあげる子もいました。
今回はモノグラムという手法でしたが、ネガフィルムを使った日光写真では味のある青写真が出来ます。

◆卓球のつどい◆

３月 13 日(日)、恒例行事として定着している「卓球のつどい」を開催いたしました。
チョット寒さが厳しく参加者数はいつもより少ない感じでした。
しかし、小中学生が１８名も参加してくれ、大変賑やかな「つどい」となりました。
好評の卓球マシーンも武蔵野市卓球連盟よりお借りし、２台共フル稼働でした。
時間交代での練習後、参加者を４チームに別けて、「箱入れ」・「交代ラリー」で点数をつけ競い合い、その後の「リレーマッチ」は、初心者にやさしくボールを送って自分が空振りしたりと、いつものようにファインプレー・珍プレーありで大盛況でした。
今年は４時間と時間を延長しましたが、まだ物足りない様子でした。
今回も「西部クラブ」と地域の卓球愛好者のメンバーに、指導と運営の中心になってもらい、準備・後片付けは参加者全員にご協力をいただきました。
２中の卓球部員が、ラリーの球出しを、小学生がボールの仕分けをしてくれました。ありがとうございました。
毎週木曜日午後３時～５時までの「卓球教室」も大盛況です。生涯スポーツとして「卓球」を楽しみましょう。